

蝶類 ～唐津市内でよく見られる蝶～	分野	自然
	地域	全域
	◎地図・写真・統計資料など	
<p>唐津市は合併により、山間部まで含めたために、市内に産する蝶が飛躍的に増え、約50種類位の蝶が生息しているが、市街地でもよく見かけられる蝶は次のような種類である。</p> <p>■アゲハチョウ科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アゲハチョウ 何処でも目にする、皆よく知っている蝶である。 庭に植えたサンショウや、ミカンについているイモ虫はほとんどこの蝶の幼虫である。 ・モンキアゲハ、ナガサキアゲハ 夏、庭の花に飛来する黒っぽい大きな蝶である。 幼虫はミカンの葉っぱが大好きである。 ・キアゲハ アゲハの黄色っぽい感じの蝶で、幼虫はセリ科の植物を食べるため、家庭菜園のパセリについて食べつくすことがある。 <p>■シロチョウ科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モンシロチョウ 良く知られている蝶で、青虫はキャベツの害虫として有名である。 ・キチョウ その名のとおり黄色いきれいな蝶で、幼虫はマメ科のいろいろな植物を食べるので、あちこちで見かけることができる。 <p>■タテハチョウ科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ツマグロヒョウモン 庭先で見かけるオレンジに黒班の入ったきれいな蝶で、幼虫は庭のスミレやパンジーを食べる。スミレの葉に赤い毛虫がいたら殺さずに観察すると、とてもきれいな蝶になる。 ・ヒメアカタテハ オレンジ色系の小型の蝶で、飛び方がとてもすばしっこく、幼虫はヨモギを食べるので、気を付けていればみるができると思う。 <p>■シジミチョウ科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルリシジミ 瑠璃色のかわいらしい蝶で、この蝶もマメ科の植物が大好きで春早くから秋遅くまで見ることができる。 ・ヤマトシジミ 夏から秋にかけて、庭先などで地面を這うように、ちらちらと飛んでいるとても小さな蝶で、気を付けてみればどこにでもいる。食草は庭の片隅や花壇の隅等に生えているカタバミを食べて育つ。 	<p>◎引用・参考文献（出典）</p> <p>◆『佐賀の昆虫』 佐賀昆虫同好会会誌</p>	
◎もっと詳しく知りたい方は		
唐津市近代図書館へ お問い合わせください。		
■電話：0955-72-3467 ■ホームページ： http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html		